

2025国際協同組合年

2025 International Year of Cooperatives



国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年（International Year of Cooperatives：IYC）に決めました。

協同組合は国際協同組合年を機に、相互扶助（助け合い）の精神に基づき、持続可能な地域社会づくりにいっそう貢献してまいります。

協同組合はよりよい世界を築きます

Cooperatives Build a Better World

2025国際協同組合年全国実行委員会

事務局：一般社団法人日本協同組合連携機構（JCA）



2025国際協同組合年
全国実行委員会は
IYC2025に賛同しています。



国際協同組合年

協同組合の発展と認知度向上の 絶好の機会として 2025国際協同組合年を活かしましょう

国際年とは

国連は「一年間を通じて、平和と安全、開発、人権・人道の問題など、ひとつの特定のテーマを設定し、国際社会の関心を喚起し、取り組みを促すため」に「国際年」を制定しています。国連はその一環として2023年12月に、2025年を2012年に続く2回目の国際協同組合年に決めました。

2025国際協同組合年の活動目標

1

協同組合に対する理解を促進し、認知度を高めます

- 協同組合が地域社会の課題解決や持続可能な開発目標（SDGs）への貢献など公益的役割を果たしていることを発信します。
- 活動を通じて、協同組合をめぐる諸制度の整備に向けた機運醸成を目指します。

2

協同組合の事業・活動・組織の充実を通じて SDGs 達成に貢献します

- 事業や活動を通じてSDGs達成にいっそう貢献し、協同組合の理解者・共感者、そして組合員を増やします。

3

地域課題解決のため協同組合間連携やさまざまな組織との連携を進めます

- 複雑化・深刻化する地域課題の解決に向けて、協同組合同士やさまざまな組織と連携して取り組みを進めます。

4

国際機関や海外の協同組合とのつながりを強めます

- 国連機関や国際協同組合同盟（ICA）、世界の協同組合と連携し活動します。
- 世界の協同組合から学ぶとともに、日本の協同組合の取り組みを発信します。

「学び」「実践し」「発信する」取り組みを進めましょう

1 学び

- 2025国際協同組合年について組合員・役職員の間で共有しましょう。
- 「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」について学習しましょう。
- 持続可能な社会の実現に向けた自組織の取り組みを学習しましょう。

2 実践

- 「学び」を通じて見えてきた課題について話し合い、さらなる実践につなげていきましょう。

3 発信

- こうした組合員・役職員の学び、実践を社会に積極的に発信しましょう。